

講義 I

レポートの種類

アカデミック・ライティング A

第3回

この講義で学ぶこと

- レポートの種類

- 大学の講義では学修の到達度を確認するため、レポートが課されることがある。

- レポートにはいくつか種類がある。それを覚え、要求された内容・形式でレポートを作成し、提出しよう。

レポートの種類

- レポートは大きく分けて3種類ある。
 - 研究レポート
 - 学習レポート
 - ブックレポート
- レポートの種類によって内容は異なる。
- 講義で「課題文」が課された場合は、どの種類のレポートかを必ず確認しよう。

研究レポート（特徴）

- 自分で資料やデータを収集し、独自の意見（主張）や発見を述べることが求められる。
- 講義や教科書の内容を、ただまとめるだけでは不十分。
 - 4年次に作成する卒業論文やゼミ論も研究レポートの一種。

学習レポート（特徴）

- 講義内容の**理解度を把握**する目的で課される。
- 独自の発見や意見を述べることは必須ではないので、講義や教科書の内容を踏まえて書く。
 - 講義内容の要点をまとめたノートや資料への書き込みが役立つ。

ブックレポート（特徴）

- 書籍（本）の内容を紹介し、それに対する客観的な評価（コメント）を述べるもの。
- 「書評」ともいう。
- ただし、**読書感想文とは異なる**。
 - 読書感想文は、本の感想（主観的）を書き残す。
 - 書評は、著者の意見に対する批評（主観に基づかない評価が必要）。

レポートの種類の見分け

- レポートの提出を求められた場合、
 - どの種類のレポートかわからない…
 - 取り組む前に**教員に質問**しよう。
- どれほどの力作であっても、**課題を正しく把握して取り組まない**と**評価対象外**になる。

レポートの種類の種類: ヒント

- レポート作成の指示には以下の表現が使われることが多い。
 - 研究レポート
 - 「～解決策を述べよ」「～意見を述べよ」「～賛成か反対か、またその理由を述べよ」
 - 学習レポート
 - 「～説明せよ」「～まとめよ」
 - ブックレポート
 - 「～の内容をまとめ、意見を述べよ」「～を読んで批判的にコメントせよ」

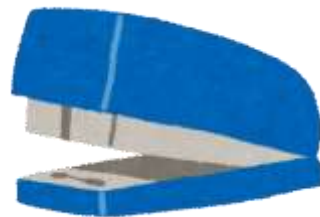
レポートの作成方法

- 特に指定がない場合、レポートはパソコンを使用して作成する。
 - スマートフォンのアプリではレイアウトや書式設定に不備が生じるので、文章作成はパソコンを使用すること。
- Wordなどで作成
- 提出方法の指定を守る。
 - 電子ファイルで提出
 - Wordファイル、PDFファイル、など
 - 紙にプリントアウトして提出



プリントアウト提出の留意点

- パソコンからプリントアウトする場合
 - A4判の白い紙を使う。
- 複数枚になる場合、各ページにページ番号をつけ、左上をホチキスで綴じる。
 - クリップやセロハンテープで留めたり、角を折るだけでは外れてばらばらになるためNG。



字数の指定と長さの目安

- 字数の指定に用いられる表現
 - ○字以内: 「○字」の8割以上は書き、指定字数を超えないよう注意する。
 - 1000字以内なら「最低800字、最大1000字」
 - 約○字、○字前後、○字程度: 「○字」の±1割
 - 1000字程度なら「最低900字、最大1100字」
 - ○字以上: 「○」字以下は不可。最低「○」+1字
 - 1000字以上なら「最低1001字は書く」

練習問題

- 以下の指定字数の場合、長さの目安はどうか。「みにまる・のーと」に解答しなさい。

[1] 1000字程度で説明しなさい。

[2] 2000字以内で意見を述べよ。

[3] 800字前後でまとめなさい。

模範解答

- [1] 1000字程度で説明しなさい。
 - 指定字数の±1割
 - **900字~1100字**の範囲内

- [2] 2000字以内で意見を述べよ。
 - 指定字数の8割以上書き、指定字数を超えない。
 - **1600字~2000字**の範囲内

- [3] 800字前後でまとめなさい。
 - 指定字数の±1割
 - **720字~880字**の範囲内

指定字数の根拠

- 指定字数は、教員が想定するレポートの内容によって決まる。
 - 3000字程度という指定なら・・・
 - テーマに必要な情報の紹介、議論の展開を想定し、3000字程度が妥当だと判断して設定しているということ。

指定字数の違反

- 指定より**極端に長い／短いものは良くない。**
 - 長すぎる場合は、余分な内容が含まれている。
 - 短すぎる場合は、必要な情報・展開が抜けている。
- 字数だけ満たしていても、肝心なポイントを踏まえないと低評価となるので注意。
 - 不明点は取り組む前に教員に確認する。